

QUESTION

9月9日4名、10日2名の議員が一般質問を行いました。
質問方式は一問一答方式で、議員の持ち時間は1人30分です。



裁判所

和解は議会がしたと言われるが

町長

和解は議会ではなく町がした



丹 邦敏 議員

(問) 私は損害賠償の問題を定例会ごとに取り上げてまいりました。全国でも珍しい事案であり判例がありません。この賠償金を住民の負担とする行為は住民を欺く行為となり、法律の目的に反することになります。町では議会の議決の中で、原告とは和解解決を致しま

した。
和解の方法も利益を考えれば必要な行為でございませう。しかし、和解で解決したので責任の所在、又財務会計行為等の問題は関係ないというあり方は正しなればなりません。裁判上、和解の調査内容は判決の効力と同一となっているのです。責任の所在を明確に町民に伝え、求償権の行使についても真摯に検討される事を要望します。

(町長) 給与減額は町民にご心配とご迷惑を掛けただけの町の執行者として、身を処するということでの減額の条例改正を行いました。
(問) 町長の言葉に和解は議会がしたと言われるところがあるが。
(町長) 和解は議会ではなく町がしています。

(問) 和解を受け入れたことは自らも安全配慮義務違反を認めたことになるが。
(町長) 議会で議決いただき、法的手続きによって執行しております。全庁的に再発防止に向けて取組んで行きたいと思っています。

スカイパーク構想計画の実現性は

町長

実現に向けて努力します



三浦千尋 議員

(問) 今後定着したい事業、新たな事業計画は。
(町長) 従来イベントの継続となる。新たな計画はありません。
(問) 情報通信網整備による人口増への期待は。
(町長) 特にインターネットのスピードアップに期待します。
(問) 地域医療対策も急

(問) 今後定着したい事業、新たな事業計画は。
(町長) 従来イベントの継続となる。新たな計画はありません。
(問) 情報通信網整備による人口増への期待は。
(町長) 特にインターネットのスピードアップに期待します。
(問) 地域医療対策も急

対し、AEDが唯一対処手段である。町内設置台数は。
(町長) 公設23台、民間13台程度と認識。設置義務もなく各職場判断と考えています。
(問) AEDの普及推進、全町民への研修の強化についての考えは。
(町長) 学校の先生、体育指導員実施中。消防団への研修に合わせ検討します。
(問) スカイパーク構想の進捗状況と実現性は。
(町長) これから基本計画、実施計画に入る。実現に向けて努力します。

(問) 財源確保については。
(町長) 実施計画に合わせて関係省庁と検討に入ります。
※新富町の喫緊の課題は人口減少・流出への具体的で早急な対応にあります。
□今回の回答の中には将来への不安解消にはほど遠く、正に貧すれば純粋な状態と懸念します。
□「交通・物流・町内活性化戦略会議」の設置を強く求めました。



設置台数は大丈夫か！

胃がん対策ピロリ菌除菌の 保険適用拡大の効果は

町長 保険適用拡大は、疾病予防
の観点から効果は大きい



倉永豪修 議員

問 厚生労働省は、子宮頸がんワクチンの定期接種を積極的に勧奨しないと通告を行ったが今後の動向は。

町長 ワクチン接種の積極的勧奨の差し控え期間は、一時的な措置

問 胃がんの原因をピロリ菌と国が認め除菌に対し薬事承認と保険適用拡大に繋がったその効果は。

町長 ピロリ菌感染の診断及び治療に関する取り扱いが一部改正され、内視鏡検査において胃炎の確定診断がな



バリアフリー化を要望した
日向新富駅

された方にも保険適用が拡大されたことは、疾病予防の効果は大きいです。

問 高齢者の社会保障の増大が予想されるその予防と健康づくりは。

町長 医療費の抑制を図るため特定検診等の受診率の向上や疾病の早期発見、早期治療に努め保健指導・介護予防教室の充実に努めます。

問 日向新富駅のバリアフリー化の進捗状況及び放置自転車等のクリーン一掃化について。

町長 日向新富駅のバリアフリー化は、重要ではあるが、安全性の面から運輸局の許可が難しいため進んでいないのが現状です。引き続き要望してまいります。放置自転車撤去については、状況を見て適宜行っていく予定です。

子育て世帯の国保軽減策は

町長 制度上難しく違う形で



高野賢治 議員

問 企業誘致の取り組みと今後の展望は。

町長 地域経済の活性化・雇用機会の拡大・産業構造の高度化を図り、人口増加のためには大変重要な施策であります。

問 国民健康保険税負担について子育て世帯は同じ所得の場合、負担増となる。その軽減策は考えられないか。

町長 国民健康保険には低所得世帯に対し保険税の軽減制度が設けられ、その世帯の前年度所得に依り、7割軽減、5割軽減、2割軽減があります。子育て世帯に対しまして、家族構成に対する支援は制度上上よつと難しいのではと思います。税としての支援ではなく、違った形での子育て支援を行ってまいります。

問 防犯灯及び防犯カメラについて。

町長 平成20年度から再編交付金事業を活用して、明るく寿命の長い防犯灯の設置事業を行ってまいります。実績として新規と取り換えを合わせて776基と204基設置します。状況を見ながら地区要望に対応します。



街路等に設置が望まれる
「防犯カメラ」

米軍再編交付金の効果は

町長

利便性向上や安心な生活に成果



下村 豊 議員

〔問〕スカイパークの発想の原点は。

〔町長〕本町は、基地の町であるという独自性を生かしながら、西都児湯地域の交流人口の拡大と口蹄疫から復興することを目的に、スカイパーク構想を立ち

〔問〕日向新富駅の町内案内板は。

〔総務財政課長〕一日平均の乗降者は約600名。大半が通学・通勤で利用する。切符販売の方が常駐しています。が、町内の案内板等はありません。



町内の地区集会所に太陽光発電を設置予定

〔問〕米軍再編交付金の使途と効果は。

〔町長〕ソフトとハードの事業に取組んでいきます。

25年度は、地区集会所へ太陽光発電設備設置、駅前道路改修、高齢者用イスを地区集会所に設置等を計画しています。

子育て支援、町民の健康づくり、教育の振興、福祉の増進等のソフト事業と道路等公共施設の整備や防犯灯設

置等のハード事業により、利便性の向上や安心して暮らせる生活環境等に成果があると考えています。

〔問〕各課の事業実施計画書検証の発行は。

〔町長〕各課は、事業実施計画を作成し、年度終了後に検証することにより、事業の進捗や達成状況を明確にすることで、長期総合計画の実効性を確保するものであります。

複合施設は十分な検討を！

教育長

アンケートで過半数の評価



櫻井 盛生 議員

〔問〕図書館の必要性は低下している。8月にわずか8500円の書籍端末が発売され、購入すると8千冊の本を

無料で読め、11万冊の書籍を選択購入もでき、県内どこでも通信可能と優れたものだ。後10年もすると、どうなるのか。図書館のいない時代へと向かっている。今一度町民の合意を得る考えはないのか？町の活性化対策を

優先すべきでは？

〔教育長〕図書館を中心とした複合施設は、どのアンケートも過半数の評価を得ている。概要は、図書館・史跡等の展示・高齢者や子供が集う施設で、総工費11億円、規模3200㎡、維持費9700万円、年間入場見込み12万人と想定。今年、基本設計、2年間で建設し、28年度運用開始となります。

〔問〕町道は、極めて大切な道路である。整備されていない箇所も多い。最優先課題として取り組んでいきます。



幅員が狭い町道「伊倉～中須線」



では、シンポジウムに参加した。パネリストは、様々な意見を頂戴した。

議会シンポジウム 開催にあたって

台風18号の接近で開催が不安視される中、8月30日当日を迎えた。議員のほとんどが4時間前に文化会館に集まり、イスや机を並べ、ステージ設営や看板の取り付けなど行っていたところに、新潟大学の田口准教授が到着され、リハーサルを眺めておられました。私は「教授、大丈夫でしょうか？」とお尋ねすると、「ここまで自分達でやる事が大事。ここま

でできたら80%は成功です。」と不安を払しょくして下さいました。第一部の田口准教授による講演は素晴らしい内容のもので、地方議会の役割やこれから我々議会が取り組もうとする事など詳しくご教授くださいました。いよいよ、第二部パネリストカッション。地元の方々5人に登壇していただきました。商工会、JA児湯、NPO、若者連絡協議会の各代表、そして新田原基地司令。それぞれ議会に対して、又、町の行政運営に対して、いろいろなご意見、ご質問をいただきました。議長役はコイデイネート。田口教授のアドバイスをいただいたながらの進行でしたが、時間配分や内容のやりとり等、戸惑うところもあり、冷や汗だらだら。会場に詰めかけて下さった90名の皆様からも質問やご意見を賜りました。基地司令の参加で、戦闘機の騒音問題が出たが、明快な返答をされ、国防の重要性和基地の存在意義を説かれた。しかし、議員と語るというサブタイトルからすると課題の残る結果で、私としては反省しきりです。

ある存在になること、その為に何をすべきか！。住民説明会を実施することで、議会の議決した事の責任の所在を明確にしていこう。更には、議会基本条例を制定し、住民の皆様との約束をしっかりと果たしていく事でございます。参加下さった皆様のアンケートによると、シンポジウムの開催を

多くの皆様にご理解とご支援をいただき、「更なる期待をしている」との内容が多く記載されていきました。私たちは自己満足に終わることなく、次の事案に取り組んで参ります。ご参加いただきまして多くの皆様に心から御礼申し上げます。

新富町議会
議長 長濱 博

行政が 民間の 力だけで

複合施設建設に先立ち、文教厚生常任委員会は、武雄市図書館を視察しました。

概要

武雄市図書館は平成12年10月開館され、モダンな建造物として、全国的に有名な公立図書館であった。平成19年樋渡市長就任以降「もつと多くの

人を利用していただきたい」「365日年中無休」「行政ができれば民間の力で」の思いで、平成25年4月1日(図書館歴史資料館設置条例の一部改正により指定管理者制度を導入)全国ではじめて、レンタルビデオTUTAYA、蔦屋書店等を運営するカルチュア・コンビニエンス・

クラブ(CCC)が公立図書館として運営を開始している。開館時間も朝9時～夜9時まで営業。これまで年間34日の休館日も、365日年中無休を実現。利用者も平日2000名、週末は3000名を集客する。館内に入ると、スターバックスコーヒーやレンタルCD・DVDのコナラー、書籍販売のスペースなどが併設され、公立図書館のイメージよりも最近流行のブックカフェと錯覚してしまう。全国的な公立図書館の利用率は、住民の20パーセント程度であり、もつと多くの人に利用してもらえよう市民の生活をより豊かにする図書館「9つの市民価値」を実現されている。

①20万冊の知に出会える場所(眠る閑架図書を表に出す)

- ②雑誌販売の導入（利用者への要望に答える）
- ③映画・音楽の充実（利用者の要望が高かった）
- ④文具販売の導入（高級文具販売を検討）
- ⑤電子端末図書検索サービス（20万冊の検索担保）
- ⑥カフェ・ダイニングの導入（公立図書館初の導入）
- ⑦館内サービスの導入（蔦谷書店ノウハウを活用）
- ⑧Tカード、Tポイント導入（無人貸出機利用者）
- ⑨営業時間（365日、朝9時～夜9時開館）



樋渡市長に新図書館への熱い想いと今後の運営を尋ねる委員

朝9時～夜9時開館）これからの利用者ニーズに応え新しいものをどんどん取り入れる常にな生まれ変わる図書館に挑戦すると断言されています。

公立図書館とはどんな図書館であるべきかとの間に「何もない、ただ、自分が行きたいと思える図書館でなければ、みんなに自信をもってすすめられない」との市長の言葉が印象的でした。

一大プロジェクトを成し遂げるには、創り続ける様々な立場の人

基地対策特別委員会要望活動報告について

の想いを結びつけて課題を乗り越え、はじめて扉は開く、と感じました。

文教厚生常任委員会
委員長 阿萬誠郎

本委員会は、7月17日・18日、7月30日・31日の四日間、熊本支局・九州防衛局・防衛省・総務省自治税務局に対し、要請活動を行いました。

主なものは、米軍再編訓練移転に関する2件、町内緊急道路の整備や、一ツ瀬橋早期架け替えと共に、災害対策のための新たな道路整備についても従来の要望項目に加え、国・県の積極的な取り組みを要請しました。

その要旨は、防音対策の遅れは人口減少・

少子化にも危機的状況にあり、税収減少・商業の疲弊等、町内振興にも陰りを見せていること。故に、防音工事・機能復旧への対応・告示後住宅対策の遅延は、一刻の猶予も許されないこと。そして、本年末を目途にした防衛大綱の見直し計画に当り、基地周辺住民への生活改善、健康への配慮こそ、最優先であることを盛り込むこと等々、委員一同強調いたしました。

成果は、告示後住宅に対し85W値以上で騒音の激しいところから来年度概算要求で一步踏み込みたい。再編受入れの時の協定書・覚書の遵守については、当然のことと理解していること。地上騒音に對しては、防音壁の検討を行っている等、確認できました。

また、松島基地の東日本大震災に起因して



と速やかな通知を要望したことを付け加えます。

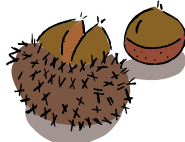
今後、防衛省・総務省そして財務省に定期的な要請行動をとりながら、具体的に積極的かつ提案型の要請行動に加えて、さらに深化の必要性を自らに課し、本町の発展に粉骨砕身委員全員で立ち向かうことを申し添えて報告いたします。

基地対策特別委員会
委員長 三浦千尋

カ・メ・ラ・探・訪



▲敬老会
敬老者も地区民も
盛り上げに一役



▲ピーマンの糸吊り作業の様子



▲ストレッチ
(極楽鳥花)
花言葉は「気取った恋・寛容・恋の伊達者」です。



▲役場駐車場で披露された
元禄坊主踊り



▲富田八幡神社夏祭り

■発行責任者／新富町議会議長 長濱 博

町民の声

議会に寄せられた
町民の皆様の声です。

防音工事で設置したエア
コンの復旧工事の待ち期間
が長過ぎると思います。
我が家では24年5月に故
障してすぐに取り替えの申
請をしましたが1年待ちと
のことでした。

夏の暑いシーズンを2回
も過ぎてしまいました。
やっと11月に切り換えの予
定です。

高齢の親を週末に預かり
面倒を見てきましたが、暑
くてそれも出来ません。期
間短縮を何とかして下さい。

富田 K・Hさん

今年も恒例の敬老会が
行なわれました。そこに元
気な100歳のおばあちゃ
んが参加されておりました。
人生は一度しかなく、長
生きをしなければダメ、長
生きをするためには健康で
なければダメ、健康である
ためには、適度な運動と食
事に注意しなければダメと
言われました。そんな姿を
みて私も「こんな人生を送
りたいな」と思いました。

日置 T・Mさん

編集後記

敬老の日を前に100歳
以上の人口の推移が新聞等
で発表されました。

調査開始は50年前の昭和
38年で全国で153名でし
た。35年後の平成10年に1
万人を突破。更に15年後の
本年には5万人を突破しま
した。住民基本台帳による
全国集計では本年度中に1
00歳を迎えられる方は2
万5千人以上となっていま
す。高齢化が加速度的に進
行していることが数字に如
実に表れています。

この高齢化のスピードに
国の社会保障制度は追いつ
いていけるのでしょうか。
我々地方議会の役割は益々
重要であることを、あらた
めて自覚しました。

賢治

議会広報特別委員会

委員長
副委員長
委員

永友 繁喜
高野 賢治
三浦 千尋
下村 豪
倉永 誠郎
阿萬 郎

※連絡先 議会事務局

TEL 33-6139

■印刷／あゆみの里